



発行：原子力発電環境整備機構（NUMO）

<http://www.numo.or.jp/>



各地でお祭りや花火大会のお知らせが目に残る季節になりました。

NUMOのHP「夏休み大作戦2017」でもイベント情報などを紹介していますので、
そちらもぜひクリックしてみてくださいね。

本日は、「2016 事業年度 事業報告書」公表のお知らせ、ヨミウリ・オンライン特設サイトや「Adfes
（アドフェス）グランプリファイナル」の様子などの情報をお届けします。

《目次》-----

◆お知らせ/イベント情報など

【掲載のお知らせ】「2016 事業年度 事業報告書」を公表しました

【公開のお知らせ】「夏休み大作戦2017」をオープンしました

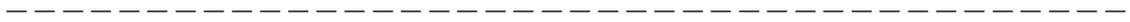
【ご案内】ヨミウリ・オンラインに特設サイトが開設されています

【ご案内】“地層処分の認知拡大”をテーマに「Adfes（アドフェス）グランプリファイナル」を開催。
大学広告研究会が広告プランを競いました

【ご案内】地層処分をテーマにした「デジタルハリウッド・アースプロジェクト2017」の
作品発表会が開催されました

【出展報告と予定】コミュニケーション3Dシアター「ジオ・ミライ号」の出展報告と
今後のスケジュールをお知らせします

◆NUMOのひと



◆お知らせ/イベント情報など

【掲載のお知らせ】「2016 事業年度 事業報告書」を公表しました

このたび、NUMOの「2016 事業年度 事業報告書」をとりまとめ、
ホームページで公表しました。

これに伴い、理事長の近藤から皆さまへのメッセージを掲載しました。

▽「2016（平成28年）事業年度 事業報告書」についてはこちらから

http://www.numo.or.jp/about_numo/outline/zaimu/2016/zigyo-h.html

▽近藤理事長「ごあいさつ」のページはこちらから

http://www.numo.or.jp/about_numo/message/

【公開のお知らせ】「夏休み大作戦 2017」をオープンしました

昨年ご好評いただいたNUMOホームページ「夏休み大作戦」コンテンツを今年もオープンしました。夏休みのイベント情報や自由研究コーナーなど、お子さまの夏休みの宿題に役立つ情報をご紹介します。親子でぜひご覧になってください！！

▽「夏休み大作戦 2017」はこちらから

<http://www.numo.or.jp/pr-info/pr/summer/2017/>

【ご案内】ヨミウリ・オンラインに特設サイトが開設されています

「キャンパス・スコープ」(※)を発行している現役の大学生たちが取材を通して、高レベル放射性廃棄物の処分問題について真剣に考えてくれました。現在その様子を紹介する特設サイト「未来のために今考えよう！！～NUMOが取り組む地層処分～」がヨミウリ・オンラインで開設されています。大学生たちの率直な疑問や感想などが紹介されていますので、この機会にぜひご覧ください。

※「キャンパス・スコープ」・・・読売新聞社が大学生と共同で発行しているタブロイド判の学生新聞。年2回発行で部数は学生新聞としては最大級の10万部。全国の高校や大学に届けられています。

▽ヨミウリ・オンライン特設サイトはこちらから

<http://www.yomiuri.co.jp/adv/numo2017/>

【ご案内】“地層処分の認知拡大”をテーマに「Adfes (アドフェス) グランプリファイナル」を開催。大学広告研究会が広告プランを競いました

大学の広告研究会が年に一度、共通のテーマで自らの広告プランを競う「Adfes (アドフェス) のグランプリファイナル」が7月8日(土)東京都北区王子の「北とびあ」で開催されました。

今年のテーマは「高レベル放射性廃棄物の処分問題の認知拡大」。学生の皆さんは、広告プランを考えるために、NUMO職員による勉強会や、岐阜県瑞浪市にある地下研究施設(日本原子力研究開発機構)の見学会などに参加。社会的課題であるこの問題に対して、正面から向き合い、広告プランの制作に取り組みました。

今回は9大学14チームの応募があり、その中から一次選考を突破した5大学7チームがグランプリファイナルに進みました。厳正な審査の結果、一橋大学「来来来世」チームが金賞に輝きました。結果や取り組み経過は順次、NUMOホームページでも紹介予定です。

【ご案内】 地層処分をテーマにした「デジタルハリウッド・アースプロジェクト 2017」の作品発表会が開催されました

IT 関連及びデジタルコンテンツの人材育成スクール・大学・大学院を運営するデジタルハリウッド株式会社（東京都千代田区）は、2012 年より「デジタルハリウッド・アースプロジェクト」として、地球規模で存在する課題や、世代を越えて存在する中期的な課題についてデジタルコンテンツを通じて解決を試みることに取り組んでいます。

昨年に引き続き、二年連続でテーマが地層処分に設定され、若年層がこの問題を「知るきっかけ」となるような映像を制作、7 月 12 日（水）にその発表会が行われました。

制作に取り組んだ学生は、地層処分について猛勉強し、各チームでさまざまな議論を重ねたことです。その中には当機構を訪問して、職員と意見交換を行ったチームもあり、参加した全員の学生が真剣にこの問題を考えてくれたようです。今回制作された作品は、産経デジタル特設サイトでご覧いただけます。

▽産経デジタル特設サイトはこちらから

<http://www.sankei.com/special/ep2017/>

【出展報告と予定】 コミュニケーション 3D シアター「ジオ・ミライ号」の出展報告と今後のスケジュールをお知らせします

★コミュニケーション 3D シアター「ジオ・ミライ号」出展実績

・7 月 15 日（土）～17 日（月・祝）：つくばエキスポセンター（茨城県つくば市）に出展
（参加者：1,354 名）

3 日間、晴天というより猛暑日でお客さまもスタッフも汗だくでした。屋外展示場に設置したジオ・ミライ号の車内（3D シアター）は涼しく、上映をご覧になった後、外に出たくないというお客さまも…

多くのお客さまにお立ち寄りいただきました。皆さまありがとうございました！

★今後の出展は以下を予定しています。ご来場をお待ちしております！

・開催日：7 月 22 日（土）、23 日（日）

開催場所：秋田ふるさと村「はたらく車大集合&しごとの王国」イベント（秋田県横手市）

▽「ジオ・ミライ号」の予定はこちらから

<http://www.numo.or.jp/pr-info/pr/event/index.html>

【NUMOのひと】

「NUMOのひと」をお読みいただきましてありがとうございます。委託などの契約関係業務を担当しています総務部経理・資材グループの下村です。

NUMOの運営は、電力会社等から納付された拠出金とその運用益（運用は（公財）原子力環境整備促進・資金管理センターに委託しています）で賄われています。そのため、NUMOの事業費の多くはみなさんの電気料金で賄われていると言えます。私は電力会社からの出向者であり、電力会社での業務と同様、拠出金等を決して無駄に使ってはいけないということを肝に命じて日々の業務に当たっています。

ところで、みなさんは休日をどのように過ごされていますか。私は単身赴任ですので、週末は東京で過ごすことが多いです。こちらに来た初夏の頃は、散歩がてらに渋谷、新宿、池袋、秋葉原などに足を運んだり、休日にもかかわらず港区にある勤務地から世田谷区にある単身赴任寮まで強い陽射しの中歩いてみたり（2時間かかりました！）、DVDをまとめて鑑賞したりしていました。しかし、3ヶ月も経ち秋が深まる頃には、気になっていた街も行き尽くし、DVDも観尽くしてしまい、次第に暇をもて余すようになりました。

そんなとき、同じく単身赴任中である同僚から薦められたのが「ひとりカラオケ」です。当初は「休みにひとりでカラオケって恥ずかしい」というマイナスのイメージで躊躇していたものの、物は試しだと、勇気を出してカラオケ店へ行ってみました。すると、意外にひとりカラオケをしている人はたくさんいることがわかり、マイナスイメージは払拭され、気が付くと、1年半の間に90回に届くくらい通っていました。基本的には、週に1回ペースで、時には土日連続で行くこともあります。当初は2時間くらいで声が出なくなったものですが、最近は3時間半くらいまでもつようになりました。

こんなにはまったひとりカラオケの魅力は何でしょうか？

ひとつは、ストレス解消です。誰にも気兼ねせず大声を出すのは気持ちがいいもので、ストレスを発散するにはうってつけだと思います。

それと、採点機能を使って上達を確認できることです。点数だけでなく全国の順位も出ます。毎回同じレパートリーで歌っているのですが、この採点機能のお陰で飽きることなく高得点目指してチャレンジしている次第です。

もうひとつ、コストパフォーマンスが非常に優れている点です。私が通っているお店だと、ワンドリンク制で日中に3時間いても1500円くらいです。あまり財布を気にせず気軽に続けられます。

「続けられる」ここ大事なポイントです。

さて、とりとめもなくいろいろ書きましたが、考えてみれば、ひとりカラオケを始めるまでは、人前で歌うのが恥ずかしく、どちらかというと避けていた傾向にありました。

ところが今では、トップバッターでも平気なくらいになりました。これも「慣れ」なのでしょう。カラオケが苦手な方は、まずはひとりカラオケから始められてはいかがでしょう。誰にも気兼ねせずに練習して2、3曲歌えるようになれば順番がまわってくるのを待つ苦痛から解放されますし、苦手なカラオケが、一転して好きになってしまうかもしれませんよ。

メルマガ登録はこちらから <http://www.numo.or.jp/mailmagazine/>

メルマガ解除はこちらから webmaster@numo.or.jp

(件名に「メルマガ解除」と記載してください)

ご意見、ご感想はこちらから webmaster@numo.or.jp

〔連絡先〕 地域交流部 TEL 03-6371-4003
